

with コロナ 地域活動ひとこと事例

現在新型コロナウイルスの影響で、地域活動をこれまで通りの形式で実施できない状況が続いています。

このような中で、地域の皆様が感染症対策を講じながら実施された地域活動の取り組み事例をご紹介します（他都市の事例も含まれます）。

併せて、市内の皆様よりご提供いただいた事例につきましても、随時追加してご紹介します。

「ひとこと事例」を参考にしながら、新しい生活様式を踏まえた地域活動を継続していただければ幸いです。（地域ごとに活動方法は異なりますので、参考になる部分をご活用ください。）

○地域団体の運営上の参考事例

【総会・役員会等の会合について】
・ 書面表決や委任状を活用して対面の機会を減らした。
・ 定例会を、必要な時のみの開催に変更した。
・ 通常の会議室では密集となるため、2部屋にわける、もしくはいつもより広いスペースを借りるなどして、人との距離を確保した。
・ 役員の会議は、LINE のビデオ通話、ZOOM の会議等を用いて実施した。LINE や ZOOM の使用方法は事前に役員に配布した。
・ 会議時間を短縮するために、資料を事前に配布した。
・ 飛沫感染防止のため、説明する人の前にアクリルパーテーションを設置した。
・ 短時間での実施、換気を徹底する等の工夫をした。
・ 会議をテーマごとに分散開催した。
・ 会議の案内をメールで行った。
・ 内容によっては電話連絡のみの情報共有をした。
・ YouTube で総会の映像を配信し、質疑はメールや電話で対応した。
【会費関係について】
・ 実施できる事業が少なくなるため、自治会費の徴収を免除した。
・ 生活が困窮している家庭への自治会費等の徴収について、支払期限を延長したり減免したりする等の配慮をした。
・ 自治会費の納入について、できるだけ銀行口座への振込を会員に依頼した。
【回覧板等の情報周知について】
・ 回覧板による周知を掲示板による周知に切り替えた。
・ 回覧板を少なくし、各戸への配布で対応した。
・ LINE を使った情報共有の仕組みを作り、回覧を減らした。
・ 従来は紙媒体で発行していた広報紙等について、希望する世帯はメール配信に切り替えた。
・ マンションのエレベーター内に掲示するなど、例年よりこまめな情報発信を実施した。
・ 地域団体として LINE 公式アカウントや Facebook を作成し、情報を発信している。
・ 地元飲食店の紹介など、耳寄り情報を広報紙に掲載するなど、これまでよりも広報に注力した。

○活動、イベントの参考事例

【共通】
・開催場所を分散し、参加者を減らした。
・小規模にするため、複数回に分けた。
・密にならないように、事前申込制にした。
・会場で3密警告チラシによる啓発を行っている。
・参加者に配布するマスクを準備した。
・人が集まる行事を実施するときは、受付で検温を実施し、参加者名簿を作成する。
【屋内活動】
・飛沫感染につながる歌唱プログラムを控え、時間を短縮した交流会を開催した。
・講演会をオンラインで開催し、遠方居住の講師に依頼した。
・飲食を伴う活動を弁当や茶菓子の持ち帰りに変更した。
・文化祭について、長期間のギャラリー展示や、HP上で写真や動画を掲載する形で実施した。
・例年実施している小学生向けの防災教室を、パネル展示、DVD上映に変更した。
・地域行事でのステージ発表を事前に撮影したビデオの上映に変更した。
【屋外活動】
・草刈りを地域全体では実施せず、戸別に実施した。
・地藏盆について、ゲームやレクリエーションは中止したが、お寺のお参りは行い、子どもへのお菓子だけは別途お届けした。
・地藏盆は中止としたが、回覧でお花などのご厚意を呼びかけたところ、お庭のお花や折り紙やお賽銭などが集まり、地藏堂がお花で満たされた。
・全世帯に短冊を配り、マンション入り口に設置した笹に住民が各自飾りつけを行うことで七夕飾りを行い、集まらない形でイベントを開催した。
・避難訓練について、緊急時に分散避難が必要となるため、従来の内容を変更した。
・避難訓練を、安否確認や緊急連絡網などの情報伝達訓練に変更した。
・避難訓練に代えて、町内防災マップの改訂を行った。
・地域の運動会に代えて、ウォークラリーなどの別の形態で行うことを予定している。
・年末の火の用心の夜回りは大人だけで行った。
・従来は集会所内で行っていた音楽イベントを、集会所前の広場で行った。
・人との距離を空けながら、広場で「花の寄植え鉢創作教室」を開催した。
・ラジオ体操を人と人との間隔をあけて実施し、継続している。
【高齢者支援の活動】
・高齢者の運動量が減ったことを受け、体操動画が掲載されている市HPを案内した。
・簡単な体操を印刷し、高齢者世帯に配布した。
・高齢者の見守りは、戸内に入らない訪問や電話などに変更して実施した。
・認知症予防のため、クロスワードパズルなどの頭の体操グッズを配布した。
・敬老会を各家庭にお祝いの品を届ける方法に変更した。

・敬老会では5人ずつの参加で、ちょっとおしゃべりした後、お弁当を持って帰ってもらった。
・屋外でのドライブスルー形式の敬老会（抽選と福祉相談）を実施した。
・コロナウイルス感染症拡大防止啓発のための日常生活でのポイントを記載した広報物を高齢者全員に配布した。
・高齢者宅を2軒、同時にスタッフが1人ずつ訪問し、高齢者同士をLINEでつなぎ話す機会を作った。
【子ども支援の活動】
・休校中の子どもたち向け事業を実施した。（料理フォトコンテスト、塗り絵の配布等）
・分散登校期間中の登下校の見守りをした。
・クリスマス会は時間を三部に分け、事前申し込み制にて開催する予定。
・例年より定員を減らし、野菜収穫や木工作品作りなどの体験教室を開く予定。会場までのバスは定員の半分までの乗車とし、往復の回数を増やす。
・子ども食堂を再開したが、一方通行の動線をつくり、弁当のテイクアウトのみとした。
・子どもやその保護者への支援として、図書カードを進呈した。
・子育て世帯に対して、家でできる遊びのリストや、料理のレシピなどを郵送した。
・小中学校の卒業・入学式では来賓の出席ができなかったので、掲示板にお祝いのポスターを作成掲示した。
【その他の活動】
・家庭訪問をして募金活動を行い、担当者にはマスクを配布した。
・手作りマスクコンテストを開催した。
・コロナ禍でも開催できる新たな事業（自宅でできるヨガのDVD作成・販売、親子参加型の謎解きウォークラリー等）を実施した。
・サロンのボランティアが、毎月1回健康チェック、安否確認等について電話で対処した。
・防災マニュアルを作成し、自宅訓練の企画に変更した。
・自宅でできるハーバリウムキットを作成し、配布した。
・自治会館を一定期間閉館し、その間役員が交代で「よろず相談窓口」を開設した。

○その他感染症対策の工夫

・非接触型体温計や手指消毒用のアルコールを購入した。
・集会施設への飛沫防止シールドを設置した。
・地域団体から住民へ手作りマスクを提供した。
・独自に活動再開マニュアルを作成した。
・施設の洋式トイレに便座クリーナーを設置した。
・施設に自動水栓やセンサーライトなどの導入を検討している。
・オンライン会議やセミナーのために、ウェブカメラやプロジェクター、スクリーンといった設備の購入を検討している。